|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 講義科目 | ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ | 授業時間 | | ２０ｍ | 授業担当 | 植田吉祥 | |
| 前提 | HTMLの記述方法、エディタの起動からブラウザのプレビューについては理解済み。  条件判断については未習熟も多い学生が対象。 | | | | | | |
| 概要 | １．JavaScriptを格納するHTMLについての基礎を前期の流れを踏まえて再復習する。  HTMLの基本的な概要を、板書を用いながら行う。  ２．JavaScriptのボタンと手続きの関係について講義を行う。  HTMLにおけるボタンとその他コントロールの作成方法について。  コントロールの種類について  ３．JavaScriptの処理と結びつける関数の定義について  function構文について  alert（）関数による文字の表示について解説；  ※制御フローについては、今回は対象外。  【添付物】  プリントによる課題演習を２問行う。  １問目は授業の進捗を反映した演習、２問目は、ステップアップの演習の予定 | | | | | | |
| 内容 | | | 備考・板書項目など | | | | 時間 |
| アイスブレイク(1m)  プリントの準備、授業準備 | | | ・今日の講義内容が現実のソフトウェア（iOS、Android）のUIについての実装に関連するということの含みを持たせて興味を引く。  【板書】  なし | | | | １m |
| 講義内容について  ・目標の提示  ・理解する内容について | | | ・本日の口座の到達点の明示 今日の内容でできること、今後の買いに回すことを話す。基礎的部分がないと、「今後」を作れないため、重要であることを強調。  ・夏休み前の復習  ・最後の演習課題提出に対してのフォロー  【板書】  落書きはあり（ただし移さないことを明示） | | | | ２ｍ |
| HTMLの基礎文法の復習  ・ひな形の提示  ・ひな形の確認 | | | ・あくまで夏休みの復習 難しく考えなくてもいいし、JavaScriptを格納する部分と考えてもらうだけでOK。  ・最低限のタグについての再認識 どこに何を書くかの明確化  【板書】  ベースとなるHTML（中身なし） ※説明は黄色で付加 | | | | 5m |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 備考・板書項目など | 時間 |
| ボタンの設置方法について（HTMLでの記述方法）  ・コントロールの種類について（type）  ・コントロールの名前を付ける（name）  ・コントロールの表示値について（value）  ・コントロールに対するアクション（onClick） ※後述  ※コントロールのサイズなどについてはCSSになるので別途 | ・<input>タグを使って、いわゆるコントロールを作ることができることを明確化。  ・４つの属性値の内、onClickについては後回しとして、type、name、valueについては共通・必須なので意味と代表的な値について講義する。  【板書】  コントロールの文法  属性値の解説  代表値について  ・＋α  複雑なコントロールはjQueryで対応  コントロールとアクションのバインディングは外部ライブラリを使えば別の方法が必要になるが、今回は教えない。  ・プリント演習と解説 プリントの問題演習と解説は動的に変更する、ここで完結の固定化はしない。 | 10m |
| 演習問題の解説 | ・問題の解説 ７月の期末で、数回同じ話をしているため、それを踏まえて、異なる表現で書いたものを解説して、読み込むことができるようにする。 | ２ｍ |

上がって時間が早まった場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 備考・板書項目など | 時間 |
| ・onClickの指定について解説  ・JavaScriptの適当なイベント名を実行する例 | 【板書】  コントロールをクリックすることで、呼び出される側と呼び出す側を平行に記述し、これに対してどこがリンクするかをざっくりと。 |  |
| 関数の定義  ・関数のパターン（ざっくり） ※細かい部分は、後回し  ・関数のパターン | ・ボタンが押されたときの処理については、複数の動作が行われることが多いことを認識させること。  複数の動作を毎回書くのが大変な為、まとまりに対して名前を付けたもの、それが「関数」という認識をさせる。  ・関数の記述方法については、すべてを話すわけではない。次回以降に全体の解説を行うという含みを持たすこと。 |  |